

赤レンガでつなぐ とき、まち、ひと

誇れる伝統、文化を未来へ。

Shinshu University

70th
Matsumoto Higher School
100th
Anniversary



～旧松本歩兵第五十連隊糧秣庫の保存利活用をめぐる～



信州大学松本キャンパスにある赤レンガ建築は、近代松本の歴史を今に伝える貴重な文化財です。その来歴を明らかにしつつ、さらに、その未来を皆さんとともに考えるための公開シンポジウムです。

意義ある保存利活用への第一歩を、ぜひ一緒に！

「松本歩兵第五十連隊之図」(書肆 秋櫻舎『近代松本絵葉書集成』所収)

2019年 3月 31日 日 13-17時

信毎メディアガーデン

1階ホール

入場無料

(松本市中央 2-20-2)

会場には駐車場がありませんので、公共交通機関などでお越しください。

主催 信州大学(人文学部、経法学部、医学部、工学部、大学史資料センター)

後援 松本市教育委員会、信濃毎日新聞社

〈お問い合わせ〉信州大学人文学部 (0263) 37-2232

総合モデレーター 武者忠彦 (信州大学経法学部准教授)

セッションⅠ これまでの赤レンガ

大学史のなかの赤レンガ倉庫 福島正樹 (信州大学大学史資料センター特任教授)

医学部と赤レンガ倉庫 田中榮司 (信州大学医学部長)

市民運動史と赤レンガ倉庫 久保 亨 (信州大学人文学部特任教授)

セッションⅡ 赤レンガのこれから

赤レンガの現在と可能性 金井 直 (信州大学人文学部教授)

将来の活用プラン 土本俊和 (信州大学工学部教授)

将来の利活用に向けた全体討論

セッションⅠ・Ⅱの発表者

コメンテータ

赤羽郁夫 (松本市教育長)

笹本正治 (長野県立歴史館館長)

小内翔一 (信濃毎日新聞社松本本社報道部記者)

濱田州博 (信州大学学長)